

2018 年 6 月 20 日(水)～6 月 22 日(金)開催
『第 26 回 3D&バーチャル リアリティ展』に出展
～BIM/CIM や、ドライブシミュレーションに利用できる 3D 地図データを紹介～

株式会社ゼンリン(本社:福岡県北九州市、代表取締役社長:高山善司、以下ゼンリン)は、2018 年 6 月 20 日(水)～6 月 22 日(金)まで、東京ビッグサイトで開催される「第 26 回 3D&バーチャル リアリティ展」に出展します。街並みを再現して国内 21 都市を整備した「FBX 形式 3D 都市モデルデータ」に加え、今回新たに、BIM 設計ソフト「ARCHI CAD」に対応した 3DS 形式でのご利用が可能になりました。

建設業界における BIM^(※1)・CIM^(※2)業務での活用や、自動車業界におけるドライブシミュレーションなどをはじめ、ゲーム・VR コンテンツ制作など様々な用途での 3D ソリューションを紹介します。

※1 Building Information Modeling:コンピュータで 3D の建物情報モデルを構成すること。

※2 Construction Information Modeling:BIM の土木分野での応用。



BIM での活用例

(画像提供:レッドスタックジャパン)



ドライブシミュレーションへの活用

(画像提供:バーチャルメカニクス)



VR 交通シミュレーションのイメージ

(画像提供:日立産業制御ソリューションズ)

■主な出展内容

3D 地図データの各種用途での利用事例

【建設業 BIM・CIM 業務向け】

- ・3D 動画を使い、施工イメージを効果的に説明できる建築用プレゼンテーションソフトウェアに、「3D 都市モデルデータ」を読み込んだ事例の紹介。
- ・建築物の施工シミュレーションができる BIM・CIM ソフトウェアに 3D データを読み込んだ事例の紹介。
- ・周辺の構造物を考慮して風の流れを可視化できる、環境シミュレーションの紹介。VR でも可視化。
- ・BIM 設計ソフト「ARCHI CAD」に新たに対応した 3DS 形式での利用が可能。

【自動車業 ドライブシミュレーション向け】

- ・各種ドライブシミュレーションソフトウェアに読み込んだ、背景データとしての「3D 都市モデルデータ」と、その道路形状に合わせた「3D 誘導ネットワークデータ」の活用事例の紹介。

【その他】

- ・VR^(※3)端末を装着し、交通流の解析結果を 3D 都市モデル上で可視化した様子の体験。
- ・「3D 都市モデルデータ」をもとに 3D プリンタで制作した、東京都中心部の 3D ジオラマを展示。

※3 Virtual Reality: 仮想現実。CG や音響効果を組み合わせ、人工的に体験可能な現実感を作り出す技術。

■ イベント概要

出展イベント	第 26 回 3D&バーチャル リアリティ展(総称:日本ものづくりワールド 2018) http://www.ivr.jp/ja/		
日時	2018 年 6 月 20 日(水)～6 月 22 日(金) 10:00～18:00 (22 日のみ 17:00 終了)		
会場	東京ビッグサイト 東 8 ホール	ゼンリンブース位置	東 4-22

※記載されている社名、商品名は各社の登録商標または商標です。